

1. 活動報告（事務局 記）

—5月3日（土）① 協議会 親子自然観察隊は事業部制の活動形式となり規約（案）を説明し承諾されました。さらに追加意見のある方はお知らせください。

② エコアップ 止水池の前回引き続き実施：草原川中のタテバチドメクサの駆除

③ 水路周辺の草刈り・溝あげを実施、これは水路管理組合の溝普請に先立って行ったものです。市道の照葉樹の落葉が水路に吹き込まない様一挙に排除しました。

参加者は会員19名と山大工学部学生応援3名合計22名でした。

エンジン付き送風機を若林会員が持参されました。

—5月17日（土）新しく観察隊の事業部制に変更後の活動結果を報告します。

①つくる会の活動 維持管理作業は駐車場の草刈り整備に8時～9時半8名の方が参加され、きれいに完了しました。

②親子自然観察隊は野鳥観察をテーマに「宇部野鳥保護の会」から3名の講師をお招きしビオトープから厚東川土手にて観察と調査をしながら講話をうけ23種にわたる野鳥を探索できました。

参加者は親子自然観察隊員17名（親7名子10名）

山大工学部応援4名 つくる会会員10名 総勢34名

2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

予定はありません。

◎行 事

—6月1日（日）維持活動（エコアップ・草刈り・田植え準備）

—6月14日（土）田植え（親子自然観察隊・二俣瀬子ども会）

—6月22日（日）たんぼの除草・エコアップ（追加活動日）

3. 来訪者の声

—5月4日（日）愛媛県から家族で見学に来ました。ビオトープの中の生き物たちに癒され、丁寧に維持されていることに感動しました。ありがとうございました。

—5月4日（日）ひさしぶりに来た。牛ガエルのおたま：2ひき、ぬまがえる：1ひき、ジャンボタニシ（マルタニシ？）：2こ、オイカワ：1ひき、オグマサナエ（タバサナエ？）：♀♂1ひきずつ。またきたいです。完（戸成 晃大 記）（イラストの絵は未掲載）

4. 会員の声【 5月18日 】 (管 哲郎 記)

- (1) ビオトープのトンボについて年間定点観察を行っていますが、今年も♂♀1頭ずつですが、「ムカシヤンマ」の殻2個と成虫の1♂を確認できました。17日の観察会の後、関根先生をはじめ一部の会員の方を案内し、羽化の殻とオスの成虫をまじかに見ることができました。棲息環境が悪く、いつまで発生するか不明ですが、見守り続けたいと思います。
- (2) ため池を調査中、山口県でも貴重なトンボ「オオイトトンボ」を確認できました。ビオトープの会員の方には「セスジイトトンボ」かもしれませんと答えていましたが、それよりもうれしい再確認です。数年前には確かに一度本種と確認していたのですが、再調査した時期が悪かったのか2～3年前前まではオオイトトンボは確認できていなかったのです。
- (3) ビオトープに3名の親子が遊びに来ていました、昨年までの観察隊員”大西駿登(はやと)君”親子でした。勉強とスポーツで今年は観察隊に入隊できなかったのですが、時間ができると両親と遊びに来てくれています。春にすくい取ったオタマジャクシの中に、1頭だけ緑色の「シュレーゲルアオガエル」がいたようで、ビオトープの池に放しに来てくれたようです。ビオトープ観察隊により”カエル”に興味を持ったようでした。

5. 親子自然観察隊 (野鳥観察) (管 哲郎 記)

16日は風の強い晴天でしたが、17日は幸運にも朝から風もなく、さわやかな五月晴れのもと楽しく野鳥の観察を行うことができました。

今年は、大勢の参加者に十分な対応ができるようにと「宇部野鳥保護の会」より3名の講師が来てくださり、充実した観察会を行うことができました。

野鳥も鳴き声を含め23種類と、保護の会の事前調査のおかげもあって、わずかな距離での観察ながら、数多くの野鳥たちを眼にすることができました。昨年の27種類に比べると見られた種類は少なかったのですが、7羽の仔ツバメの整列と子育ての様子などをまじかに見ることができ、隊員たちも熱心に双眼鏡や望遠鏡を覗いていました。

山口大学よりも会員を含め7名の応援をいただき、幼年の子供たちはしっかりと抱っこされたり手をつないだりとお兄さんお姉さんたちに甘えていました。

< 目撃された鳥 (鳴き声) > 23種類

ミサゴ、ノスリ、カワウ、トビ、ハシボソガラス、キジバト、ドバト、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、キジ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ホオジロ、カワラヒワ、ヒバリ、ツバメ、スズメ、ウグイス、シジュウガラ、(オオルリ、キビタキ)。

尚、今年より、一般会員の一部の皆さんには、観察会の日には早出して、草刈りなどの駐車場整備や、遊歩道の整備などを行っていただくことになり、観察会の参加は自由参加となりましたので、観察会での一般会員の参加者がその分少なくなります。

朝早くより御苦労さまでした、今後ともよろしく願いいたします。

親子自然観察隊（5月17日 野鳥の観察）に参加した親子の感想

★阿部真愉さん

今日、ビオトープで鳥の観察がありました。お母さんが出かけていたので金子さんにつれていってもらいました。今日は、三人の鳥の先生が来ていましたツバメの巣を見ました。電信柱の所に巣がありました。全部で2種類あったけど、私は2種類見つけたかはわかりません。今度ある田植えが楽しみだけど晴れてほしいです。



★金子実侑さん

今回の観察会は、とても楽しかったです。そうがん鏡で見るのが、とてもむずかしかったです。鳥にも、いろんなとくちょうがあるので、見るとき、どんなとくちょうがあるのかなと、ドキドキしながら見ます。わたしは、カワラヒワがくちばしが大きくてすごいなと思いました。また、次の田植えも参加します。天気がよいといいです。



★金子さんのお母さん

普段、鳥のさえずりが聞こえたり姿を見かけることはありますが、なかなかゆっくり観察することはありません。今回、講師の方の説明を伺いながら望遠鏡をのぞかせていただくことで、野鳥を身近に感じることができました。ありがとうございました。

★野田怜くんのお母さん

望遠鏡を使いこなせなかったのが鳥は肉眼のみで探すばかりでしたが、望遠鏡から鳥を見せて頂いた時は感動しました。ヒバリの鳴き声が印象的で耳に焼き付いています（笑）息子は歩きながら鳥を見付けることが楽しかったそうです。



★下川さん親子

いろんな鳥が見られました。カルガモが可愛かったです。（拓実）
ツバメを見ました。ビオトープ楽しいです。（航平）
子育て中のツバメの親子の頑張っている様子が微笑ましく見られてよかったです。鳥の鳴き声や姿を見かけても、なかなか名前までわかりませんでした。観察会では、姿や鳴き声、飛び方の特徴などを教えていただき、楽しく観察することができました。ありがとうございました。（和代）



★藤井さん親子

ダイサギ?のふわふわのが見れた。（美早）
ヒバリがこんな鳥だということを初めて知りました。また、一つでも、見てわかる鳥が増えたら、おもしろいなと思います。（母）



6. ビオトープ関連：「山口県のトンボたち」 （管 哲郎 記）

(17) コサナエ *Trigomphus melampus*

サナエトンボ科 *Gomphidae* Banks <コサナエ属> *Trigomphus* Barteneff

4月の終わりごろより羽化が始まり、7月ごろまで見られますが、やはり今月5月より6月ごろに多く見られます。このトンボも局地的で、山口市徳佐、萩市吉部地区でしか見つかりません。県の絶滅危惧IB類にランクされています。

コサナエもタバサナエとそっくりさんですが、本種の方がやや小型です。コサナエの肩の黒条の中にも細い三ヶ月形の白い筋が入っており、タバサナエとの区別は容易です。しかし、ほぼ同じ時期の出現となり、一緒に棲息していますので、見た目では区別が難しいと思います。

ヤゴには特徴があり、コサナエのヤゴの腹の先端部が細長く伸びていますので、同時に羽化していても判別が容易です。



タバサナエ、ヤゴの羽化殻



コサナエのヤゴ（羽化直前）



コサナエ（♂）



コサナエ（♀）

7. 会よりの連絡事項（事務局より）

(1) 新会員 原田保成氏紹介 二俣瀬区薬師堂

(2) 草刈機1台 吉富匡会員寄贈

(3) 稲作体験の下ごしらえ着々進んでいます。

イ. 田んぼのミネラル分 車地農家より20kg 寄贈いただき散布しました。

ロ. 5月19日吉富会員によるトラクターによる整地が済みました。

※次回の活動日最終周囲の草刈り・ヨケジの溝あげです。

8. 編集後記

周南で主人や仲間達と行っている、福川こどもクラブの活動(子ども対象の自然体験活動)も、今年度で9年目となりました。当初は、自分自身が、来てくださる講師のお話や活動を体験することがとても楽しかったのですが、何年か経つうちに「もうつかれた、やめたい…」と思ったり、思うようにいかないこともおきたりして「もうやだ！私はやらないわよ！」と主人に言ってみたりもします。それでもやっぱり今年度も行おうと思うのは、「せっかくこれまで続けてきたからこれからも続けたい気持ち」と、「自分の子ども(特に上の5歳児)が、活動日をとても楽しみにするようになったこと」と、「一緒に手伝ってくださるたくさんの方達とのつながりのありがたさ」でしょうか。でもやっぱりつかれるなど思う事も多いため、年8回の活動のうち、1個か2個は新しく、自分のやってみたい活動を予定にいと、モチベーションもあがってきます(自分へのお楽しみです…。全部新しくするのはとても無理ですが、ちょっとだとお楽しみ感があがります。)今年度もなんとか無事に終わりますように！

(大野 靖子 記)